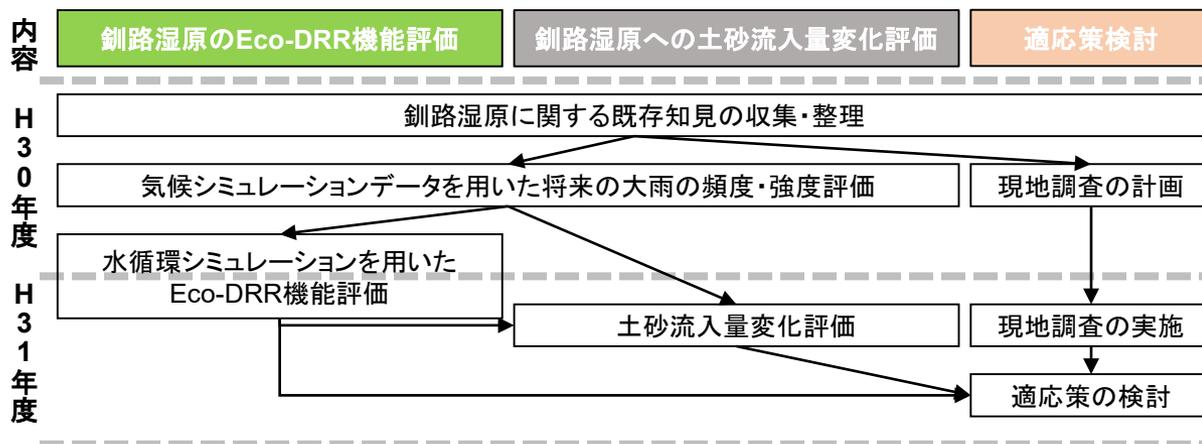


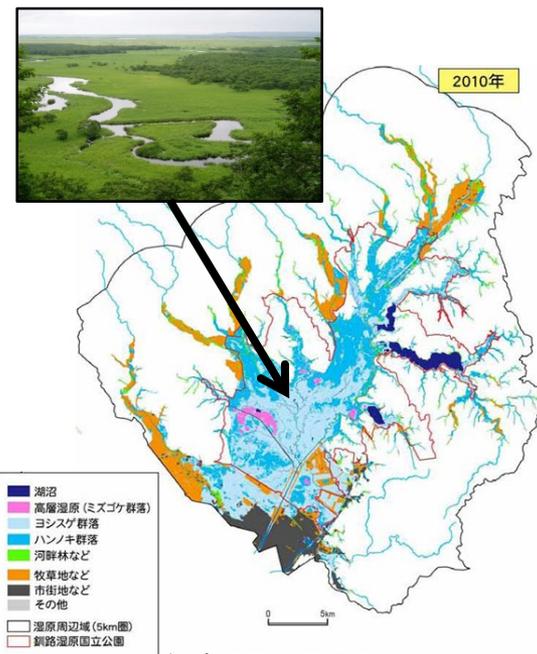
## ■ 目的

- 湿原は、釧路湿原にみられるように、自然生態系のみならず、地域産業（観光業）としても重要であることから、将来にわたる維持・保全が必要である。一方、将来想定される気温の上昇や降水量の変化により、河川の水量増加や洪水の多発、湿原の植生等への影響等が予想される。
- 本調査では、将来想定される降水量の変化等に伴う釧路湿原の水環境（釧路川の流量等）の変化、釧路湿原の保水効果等を、定量的に評価する。また、釧路湿原の保水効果等を活かしたEco-DRRや生物多様性の維持・向上などの観点から適応策を検討する。

## ■ 調査計画（2カ年）



釧路湿原の様子  
出典：環境省ウェブサイト  
([https://www.env.go.jp/park/kushiro/photo/a01/a01\\_p002.html](https://www.env.go.jp/park/kushiro/photo/a01/a01_p002.html))



釧路湿原の周辺図

出典：環境省ウェブサイトの図  
([http://kushiro.env.gr.jp/images/vision\\_fig5-2.jpg](http://kushiro.env.gr.jp/images/vision_fig5-2.jpg))  
を加工して作成

## ■ 実施体制

